

# 9/25成田用水強行着工に実力で反撃

## 日刊 動労千葉

84. 9. 28

No. 1753

### 国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）  
（鉄電）二九三五（六・公衆）〇四七二（二二）七二〇七

## 10・10空前の大結集で二期工事を阻止しよう

政府・空港公団は9月25日、六千名の機動隊を導入し成田用水着工を強行してきた。これに対し反対同盟を先頭に動労千葉、全国からかけつけた千二百名の労働者、学生は実力闘争を展開し、二期阻止の決意を叩きつけた。  
成田用水着工につづく今秋二期着工攻撃を、10・10空前の大結集で粉碎しよう。

### 機動隊の大弾圧をもとめせず闘いぬく

反対同盟の呼びかけに応え、全国からかけつけた闘う仲間、菱田工区内の小川徳太郎さん宅を拠点に測量実力阻止を闘う一方、これを支援する集会・デモを終日闘いぬいた。

権力は、大量の機動隊を配置し、現場をとり囲んだだけでもまだ安心できず、反対同盟が申請したデモコースをわざわざ変更して許可するという戒厳令的状况に抗して、まず断固たる抗議デモが闘われた。

8時に萩原進事務局次長の司会で集会が始まり、あいさつにたった北原事務局長は、「本日から成田用水工事が始まったが、反対同盟農民の田畑がある以上、なんら意味のない着工だ。勝利の展望はいくらもあり必ず勝利する」と呼びかけた。

つづいて敷地内の小川嘉吉さん、島村良助さん、市東東市さん、婦人行動隊の郡司とめさんから、勝利の確信に満ちあふれた決意が表明された。

また、この日の闘いに30名でかけつけた動労千葉を代表して繁沢青年部書記長が「全国の労働者の最先頭で10・10に決起し、二期阻止、国鉄労働運動解体攻撃に実力で反撃していく」との決意を表明した。

全国の闘う仲間の決意表明をうけ、二度目のデモに出発、小川徳太郎さんを先頭にクイ打ち阻止を闘う反対同盟を先頭とした部隊を支援し闘いぬいた。

### 機動隊の暴力うちやぶる 10・10の大結集かちとろう

午後、再び集会が開催され、北原事務局長から先程のデモに対する機動隊の弾圧で八名が不当逮捕されたことが報告され、参加者の怒りは頂点に達する。

つづいて、10・10の成功にむけた全国ブロック集会の報告が行われ、動労千葉から成田支部・大須賀書記長が「10・10五割決起を実現する」との

### 決意を表明した。

そして、昨夜から小川徳太郎さん宅へ泊りこみ早朝から強行着工に対して、機動隊との熾烈な実力闘争を展開してきた青年行動隊から「闘いの報告」が行われ、権力・機動隊の不当な弾圧を弾劾すると同時に、農民を裏切り敵の手先になり下つた用水推進派、さらにアライバイ闘争でお茶をにごし逃亡した脱落派に怒りを叩きつけた。

集会後、三度目のデモを果敢に闘いぬく中で、15時、機動隊に守られて作業隊が引きあげた。

16時45分、機動隊の凶暴な弾圧に一步もひるまず、決死の覚悟で闘いぬいた行動隊が拍手と歓声に迎えられて集会場に到着、直ちに総括集会もたれた。

萩原勇一さん、萩原亀二さん、宮本嘉さんなどから闘いの状況が報告され「六千の機動隊をもつてしてもあれだけの測量しかできなかった。今日の勝利を確認し、いかなる弾圧にも屈せず、徹底的に闘いぬこう」と訴えた。

最後に平山賢行動隊長の行動提起をうけ、第一日目の闘いを終えた。機動隊の暴力にのみ頼って強行する成田用水を全人民の実力闘争で粉碎し、10・10への大結集を必ず実現しよう。

